

駐日アラブ首長国連邦大使館との共催により、アラブ首長国連邦・ジュベイルマングローブパークにてマングローブ植林交流を実施いたしました

一般財団法人 INPEX JODCO 財団（以下、当財団）は、駐日アラブ首長国連邦大使館との共催で、当財団理事のシハブ・アフマド・アル・ファヒーム駐日アラブ首長国連邦大使ご参加のもと、アラブ首長国連邦（以下、UAE）ジュベイルマングローブパークにて、マングローブの植林交流を行いました。

本植林活動は、本年 9 月 28 日にアル・ファヒーム大使ご参加のもと、石垣島の名蔵湾にてマングローブ植林を実施した際※、UAE と日本の環境交流の更なる深化を目的としたアル・ファヒーム大使の発案により、UAE での開催が実現したものです。

※石垣島・名蔵湾でのマングローブ植林について (<https://www.inpex-jodco-foundation.com/pdf/202410-1.pdf>)

UAE は、2030 年までに自国で 1 億本のマングローブを植林する目標を掲げております。また、UAE およびインドネシアの主導のもと、日本を含む 7 か国により「気候のためのマングローブ・アライアンス (MAC)」が立ち上げられました (2024 年 10 月時点の参加 42 か国 1 組織)。本植林活動は、これらの気候変動への取り組みおよび UAE と日本の環境交流の一環として、国連気候変動枠組条約第 28 回締結国会議 (COP28) が 2023 年に UAE で開催されたことにあわせ、アル・ファヒーム大使主導のもと、実施されているものです。

今回実施された植林交流には、アル・ファヒーム大使、アブダビ環境庁の関係者、在アラブ首長国連邦日本国大使館、当財団、特定非営利活動法人 国際マングローブ生態系協会、八重山ライオンズクラブに加え、沖縄県立八重山農林高等学校・沖縄県立八重山商工高等学校・沖縄県立八重山高等学校の生徒およびアブダビ日本人学校の生徒を招待して約 50 名が参加し、UAE に自生するマングローブ種のヒルギダマシの苗の植林を通して、環境・文化双方の面から、UAE におけるマングローブおよびマングローブ生態系の重要性を学びました。

本植林交流は、持続可能な自然環境を次世代に引き継ぐという環境保全活動および世界の気候変動対策への意識を高めるとともに、日本からの参加者は、UAE の伝統文化や現代文化、環境、寛容性、UAE と日本の二国間協力の重要性への理解を深める良い機会となりました。





当財団は、引き続き UAE と日本の環境交流に資する事業を推進してまいります。

以上